

指定管理業務総合評価票

施設名	三豊市立高瀬南部保育所
指定管理者名	株式会社 小学館アカデミー
施設所管課	健康福祉部 保育幼稚園課
調査日時	令和7年6月2日(月):13時30分～15時00分

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	B	B
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	B	B
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	B	B
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	B	B
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	B	B
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	B	B
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	B	B
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等をおこなっているか	B	B
		避難経路は適切に確保されているか	B	B
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	B	B
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	B	B
		個人情報保護に関する規定が整備されているか	B	B
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	B	B
	情報公開	情報公開に関する規定が整備されているか	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	B	B
	【1 総括】	実施体制に関する評価(標準19項目・本施設 項目)	B	B
	指定管理者の自己評価	新施設長が1年目となり、運営に支障がでないか危惧されたが、後任の役職者体制が整っていたことから概ね問題なく引継ぎができて安定した保育所運営をすることができた。今期は退職者・育休者も少ないことから、新規採用は行わず、東京事務局採用育成課のフォロー研修・共通研修・専門研修等(リモート)を重ねることによりスキルアップ、保育の質の向上に力を入れた。		
	施設所管課の評価	研修等職員の資質向上に対する取り組みが積極的に行われ適正に運営されている。組織体制について保育所間(高瀬南部、松崎)での人事交流の実施により、職員の専門性や対応力の向上が見受けられます。また、所長、主任による市(保育幼稚園課)との連携もスムーズ行われており、引き続き現体制の堅持をお願いしたい。		
2 サービス等の内容や水準	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	B	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	B	B
	利用案内	ホームページ、パンフレット等は見やすく、適宜更新されているか	A	A
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	B	B
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	B	B
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	B	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	B	B
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	B	B
		参加促進への取組みを積極的に実施しているか	B	B
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	B	B
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	B	B
	利用者への調	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	A	A

	査	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	B	B
		仕様書等に従い、施設、設備の点検・管理を適切に行っているか	B	B
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	B	B
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	B	B
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	B	B
	【2 総括】	サービス等の内容や水準に関する評価（標準 19 項目・本施設 項目）	B	B
	指定管理者の自己評価	令和 4 年度から実施を開始した延長保育も徐々に利用頻度が高くなってきており、サービスの充実が徐々に浸透してきたと思われる。年度末のアンケートでは、回収率も 92.5% と非常に高くなっており、保護者の民間事業者の運営への関心度の高さがうかがえる。アンケートの結果も良好だと思われるので、引き続き民間事業者故のサービス向上を目指したい。		
	施設所管課の評価	各種行事等、トラブルなく事業計画どおり遂行された。アンケート調査結果からも苦情・要望に対応できており満足度も高い。延長保育の実施等、引き続き保護者のニーズに対し積極的な対応を期待する。		
3 収支等	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	B	B
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	C	B
	予算執行	収支計算書に則し、適正に予算を執行しているか	B	B
	経費節減	計画どおりの経費節減の取組み、またはその他の取組を実施し、その効果があったか	B	B
	収支状況	事業収支は妥当であるか	B	B
	【3 総括】	収支等に関する評価（標準 5 項目・本施設 項目）	B	B
	指定管理者の自己評価	保育所独自口座はなく、会社専用口座での管理となっている。ただ、会計士事務所と適宜打ち合わせをしており、社会福祉法人会計に則り収支報告等している。		
	施設所管課の評価	会計士事務所の指導のもと、良好な運営である。		
【4 総合評価】		1～3 の項目の総括による総合評価	B	B
(提案・成果・課題等)	5 その他特記事項	指定管理者	保育幼稚園課と連携を取りながら、公立としての立場、指定管理者としての立場を意識しながら昨年度に引き続き運営を実施した。「地域ならびに利用者から選ばれる保育所」を目標に常に児童数の獲得に向け前向きに取り組んだ。公立保育所ではあるが、入所を 3 ヶ月～としているため、年度末の 0 歳児は 15 名、総児童数は定員の 120 名をクリアすることができた。令和 7 年度は、弊社幼児教育プログラムドラキッズを 2～5 歳児クラスに導入するため、さらに児童を獲得し、特に 0 歳児は 18 名迄受け入れ可能な体制とし、選ばれる保育所に向けて尽力したい。	
		施設所管課	施設設備に関する事故・苦情について速やかに市と連携して対応できた。今後も保育現場や事務レベルにおいて情報交換を密にしていこうことにより、現体制を維持していけるようお願いしたい。	

※評価区分

①評価基準	A（優 良）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。 B（良 好）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。 C（課題含）：協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 D（要改善）：協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な内容である。
②【総括】	A（優 良）：評価基準がすべて B 以上であり、かつ A が過半数以上である。 B（良 好）：評価基準がすべて C 以上であり、かつ B 以上が 8 割以上である（上記以外）。 C（課題含）：評価基準がすべて C 以上である（上記以外）。 D（要改善）：評価基準に D が含まれている。
③総合評価	A（優 良）：【総括】がすべて B 以上であり、かつ A が 2 つ以上である。 B（良 好）：【総括】がすべて B 以上である（上記以外）。 C（課題含）：【総括】がすべて C 以上である（上記以外）。 D（要改善）：【総括】に D が含まれている。